

謎多き浄妙寺の破損仏たち

有田川河口付近、紀伊水道を臨む高台に位置する古刹、浄妙寺。その歴史は古く、大同元（八〇六）年、平城天皇の母・乙牟漏の発願により、鑑真の弟子・如宝が創建、もしくは阿波の尼僧・西阿弥の建立とも伝わります。

寺宝に目を向けると、鎌倉時代建立の薬師堂・多宝塔と、同じく鎌倉時代に制作された薬師如来坐像や両脇侍等は国指定重要文化財に指定されています。中でも、薬師堂中央の須弥壇は、各部に蓮華唐草文や宝相華文を螺鈿細工で施す豪華絢爛なものです。

一方で、浄妙寺には多くの謎がのこされています。建造物や寺宝は鎌倉時代以降のものが多く伝来し、この時期に浄妙寺が整備されたことを示しています。しかし、本展で主に展示する破損仏群には、鎌倉時代以前に遡るもの

が多く、これらの仏像がどこに安置されていたのかは不明です。

令和六（二〇二四）年は、浄妙寺薬師堂・多宝塔が国指定重要文化財へ指定されてから一二〇年の節目に当たります。これを記念して、破損仏群に焦点を当てた展覧会を開催し、浄妙寺破損仏群の謎に迫ります。

菩薩立像体部前面（平安時代後期、浄妙寺蔵）



浄妙寺縁起
紀元在田郷浄妙寺者大同元年
平城皇帝之國母創建矣于時國
中感于時疾醫巫萬方皆無效
驗而入死地者不下勝計焉加之水
旱失時年穀不登而民乏食邑
國母惻怛已甚欲救之而術窮

浄妙寺縁起（江戸時代、浄妙寺蔵）



○菩薩もしくは吉祥天立像面部残欠（平安時代後期、浄妙寺蔵）



○如来像面部残欠（平安時代後期、浄妙寺蔵）
○は有田市指定文化財



天部像腕部残欠（平安時代後期、浄妙寺蔵）

浄妙寺 破損仏 の世界。



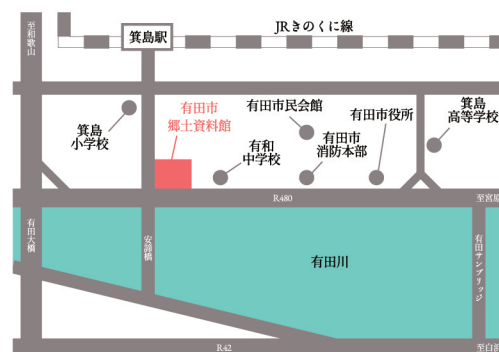
焼損台座蓮弁部残欠（鎌倉時代、浄妙寺蔵）

■関連イベント

企画展ギャラリートーク

当館展示担当学芸員による展示解説を行います。（申込不要）

9月21日（土）13:30～14:00
10月19日（土）13:30～14:00
11月17日（日）13:30～14:00



■アクセス

- ・電車でお越しの方
JRきのくに線「箕島駅」下車徒歩約5分
- ・お車でお越しの方
有田ICより約15分 ※駐車場有り